

令和6年度事業計画書

令和6年4月1日より令和7年3月31日まで

公益財団法人 セディア財団

はじめに

当財団は、平成25年4月1日に設立し、同年8月に公益財団法人の新規認定を受け、令和6年度は設立12年目を迎えます。当財団は、自然体験活動やスポーツ教室の開催、小学生を対象とした「かべ新聞コンテスト」、さらに高校生を対象にした「明日の農業レポートコンテスト」を加えて、国民の環境意識の増進と健全で豊かな人間性の構築に寄与すべく様々な事業を実施しています。

財団の事業目的

この財団法人は、自然環境の源である水の大切さから環境保護を学び、恵まれた大自然の中での自然体験、野外活動、農業体験及びスポーツを通じて健康で活力に満ちた心身とともに豊かな人間を育てることで、時代を担う青少年の育成、高齢者の生涯現役の持続、障がい者の自立支援を図り、健康で豊かな社会の構築に寄与することを目的とします。さらに小学生を対象とした「かべ新聞コンテスト」を実施し、水の大切さと衛生的な生活環境に不可欠な水道の仕組みを学ぶことにより、さらなる青少年の健全な育成と公衆衛生の知識向上を図ります。また、高校生を対象とした「明日の農業コンテスト」も実施し、農業を通して、環境保護と社会発展の調和、「生命・自然・もの」を大切する心を醸成するとともに青少年の健全な育成を促進致します。

事業

1. 自然体験、野外活動及び農業体験事業(公1)

子どもや障がい者、高齢者に向けて、自然体験、野外活動、農業体験を実施し、ガイド・インタープリター等の専門家や地域の環境保護活動の担い手の方々の指導のもと、実際に体験しながら環境の学習を行い、自然保護、環境意識の向上、郷土愛の醸成等を図り、青少年の健全な育成及び高齢者の生きがい促進、障がい者の自立支援を図るため、以下の事業を実施します。

1. 子どもの田植え体験と農業の担い手である高齢者の交流促進

1)実施日

令和6年5月下旬予定

2)内 容

近隣に住む子どもとその家族を対象に、長野県の農業従事者(高齢者)の指導のもと田植え体験を実施いたします。地元高齢者と子ども達との交流を通して、子ども達の自然環境教育や食育を行い、併せて地元高齢者の生涯現役のための環境整備を支援するとともに新たなコミュニティーの造成を図ることを目的とします。

これ以降の事業予定としては以下の通りである。

・子どもによる稲刈り収穫体験 令和6年10月初旬予定

2. 青少年に向けた、動植物発見・採取プログラムの実施

1)実施期間

令和6年6月20日～令和6年10月28日

2)内 容

青少年とその家族を対象に、いきものコレクションアプリ「Biome」を使用し、高峰高原にて動植物発見・観察を目的とした体験プログラムを実施いたします。プログラム通して、上信越高原国立公園の保全活動や子ども達に対する自然環境教育を図ることを目的とします。

3. 小中高生に向けた、動植物のフォトコンテストの実施

1)実施期間

令和6年5月1日～令和6年6月26日

2)内 容

小学生・中学生・高校生に向けた“生きもの”フォトコンテストを主催し、子どもたちが自然や生きものを見つめ、自然と人の共生を自発的に考える機会として写真や芸術の表現力を育む機会を創出します。

2. スポーツ教室及び競技会の開催(公2)

子どもや障がい者を対象にスキーを主としたスポーツ教室を実施し、併せて技能向上を主眼とした競技会を開催することで、心身ともに健全な豊かな人間性の滋養を図ります。

ブラインドスキー教室・大会の開催

1)実施日

令和7年1月下旬予定

2)内容

長野県アサマ2000スキー場にて、視覚障がい者のスキー支援のためのブラインドスキー教室を開催し、その普及を図る。また、教室参加者によるブラインドスキー大会を開催し、視覚障がい者スキーヤーの意欲醸成を図る。

3.「水」に関するかべ新聞コンテスト(公3)

小学生が学校や家庭で制作した「水」に関するかべ新聞を募集し、その作品を評価、優秀な作品を制作した小学生または学校を表彰することによって、「水」に関する環境教育を奨励し児童、青少年の健全な育成と「水道の仕組み」を学ぶことにより公衆衛生の知識向上を図ります。当コンテストは、平成27年度に公益事業として認可を受け、令和6年度は第10回目のコンテスト事業となります。令和5年度の第9回コンテストでは、145校、4,125点と多くの作品が寄せられ、公益事業としてののかべ新聞コンテストの社会的認知度は高まってきたと思われます。令和6年度も更に多くの小学校で取り組んで頂けますよう募集告知の方法を工夫し、また、運営上の課題なども洗い出しながら充実したかべ新聞コンテストになるよう取組みしていきます。

第10回セディア財団 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト

1)主催

公益財団法人セディア財団

2)後援

- ・農林水産省
- ・全国市町村教育委員会連合会
- ・全国連合小学校長会
- ・全国小学校社会科研究協議会
- ・全国小学校理科研究協議会
- ・日本初等理科教育研究会
- ・全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会
- ・全国新聞教育研究協議会
- ・全国小中学校環境教育研究会

3)対象

全国の小学生、個人またはグループ(海外の日本人学校も含む)

4)募集内容

わたしたちの暮らしに欠かすことのできない、大切な「水」に関する学習内容をま
と

めた「かべ新聞」や「学習新聞」

5)テーマ

わたしたちの暮らしと水

(テーマ例)

- ・ ～ステイ・ホーム～家族でチャレンジ！節水とエコ

- ・ 水の歴史を調べてみよう
- ・ つたえよう！水の大切さ
- ・ 世界の国の水事情

(テーマ例)

- ・わたしたちの地域の水じまん
- ・ 水と環境のつながりを調べてみよう
- ・ 防災と水
- ・ 井戸ってなに？むかしの水とくらし
- ・ 学校や家で使う水はどこからくるのかな？
- ・水の不思議を探してみよう
- ・ 植物に水をあげよう
- ・ 水を通して考える自然の恵みと災害

6) 募集方法

- ・6月上旬 全国の小学校5千校に対し、下記を送付

募集要項、応募手引き、学校応募用紙、ポスター

- ・7月上旬 全国の小学校5千校に対し、下記を送付

募集要項、応募手引き、学校応募用紙、ポスター、活動報告書

「MizuMirai」

- ・7月中旬 事務局(プラスエム)のネットワークを通じ、全国の小学校へ呼びかけ

7) 募集締め切り

令和6年11月中旬予定

8) 審査委員会

・一次審査

審査員: 小学校現任教諭に依頼(18~20名)

審査内容: ノミネート選出を行う

・最終審査

審査員: 審査委員長、有識者(大学教授複数名)、財団理事長

審査内容: 一次審査のノミネート作品の中から最終ノミネート選出を行う。

[最終審査委員予定者]

田村 学 國學院大學人間開発学部初等教育学科教授

和田 幹夫 全国小学校社会科研究協議会会長

西尾 克人 全国小学校理科研究協議会会長

宮崎 倉太郎 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会

会長

菅野 茂 全国新聞教育研究協議会会長

藤森 克彦 全国小中学校環境教育研究会会長

渡邊 元 公益財団法人セディア財団理事長

9) 発表

主催者である当財団ホームページ掲載で審査結果を掲出

10) 賞と賞品

I)個人賞

・最優秀賞

作品数:全作品より1作品

賞品:賞状、記念たて、副賞(図書カード5万円分)

・セディア財団特別賞

作品数:全作品より1作品

賞品:賞状、記念たて、副賞(図書カード3万円分)

・優秀賞

作品数:全作品より4作品

賞品:賞状、記念たて、副賞(図書カード2万円分)

・準優秀賞

作品数:全作品より10作品

賞品:賞状、副賞(図書カード5千円分)

・佳作

作品数:全作品より21作品

賞品:賞状、副賞(図書カード千円分)

・努力賞

作品数:全作品より63作品

賞品:賞状、副賞(図書カード5百円分)

II)学校賞

・学校優秀賞

内 容:学校または学年として優秀な作品を多数応募した学校を表彰

校 数:1校

賞 品:賞状、記念たて、副賞(図書カード5万円分)

・学校賞

内 容:学校優秀賞に準じて優秀な作品を多数応募した学校を表彰

校 数:5校

賞 品:賞状、副賞(図書カード3
円分)

Ⅲ)参加賞

応募者全員に記念品

10)事業スケジュール

・5月 募集要項の決定

募集要項、応募手引き、学校応募用紙、ポスター作成

審査委員体制の決定

・6月 全国の小学校5千校に対し、下記を送付

募集要項、応募手引き、学校応募用紙、ポスター

・7月 全国の小学校5千校に対し、下記を送付

募集要項、応募手引き、学校応募用紙、ポスター、活動報告書

「MizuMirai」

・11月 作品締切

一次審査会実施

・12月 最終審査会実施

入賞作品決定、入賞の通知

・1月 入賞作品新聞広告掲載

・2月 入賞作品集の制作

入賞作品対象学校へ賞状、記念タテ、賞品図書カード送付

4. 明日の農業レポートコンテスト（公4）

次代を担う農業高校に通う高校生に日々の学びの中から農業に関するあらゆるアイデアをまとめたレポートを募集し、この取り組みをきっかけに夢を描き実現することで日本の農業の持続的な発展につながることを目的としています。令和5年度の第7回コンテストでは、全国の農業高校生から794作品があつまりました。全国の農業高校生に、農業に関する諸問題について、主体的に、かつ倫理観をもって解決する方法を思索し、「環境保護と農業生産の調和、持続的かつ安定的な農業と社会の発展」を考える機会を与えることは有意義であると同時に、本財団の定款の目的に定めている通り、「環境保護を学び、(略)健康で活力に満ちた心身ともに豊かな人間を育てることで、時代を担う青少年の育成、(略)を図り、健康で豊かな社会の構築に寄与することを目的とする。」に合致するものであります。

第8回高校生「明日の農業コンテスト」

1)主催

公益財団法人セディア財団

2) 後援

- ・全国農業高等学校校長協会
- ・日本学校農業クラブ連盟

3) 対象

全国の農業高校、農業系学科で学ぶ高校生。個人応募のみの募集とする

4) 募集内容

「わたしはこんな方法で農業を元気にする」をテーマにした個人のレポート

原稿用紙8枚以内。

日本語で執筆された自作の未発表作品に限る。

5) レポートテーマ例

- ・収穫を増やすためには
- ・多品種化でリスクを減らす
- ・新たな出荷調整方法
- ・生産性の向上と施設園芸の活用
- ・これからの販路開拓に向けたアイデア
- ・IoTを駆使した次世代農業に向けたアイデア

6) 募集方法

- ・10月下旬 全国の農業高校、農業系学科のある高校に下記を送付

募集要項、団体応募用紙、エントリーシート、作品集(第5回)

7) 募集期間

令和5年11月1日～令和6年4月12日

8) 審査委員会

・一次審査

審査員:有識者(大学教授複数名)、渡辺パイプ(株)グリーン事業部社員

審査内容:ノミネート選出を行う

・最終審査

審査員:農業高校校長経験者、財団理事長

審査内容:一次審査のノミネート作品の中から最終ノミネート選出を行う。

[最終審査委員予定者]

・全国農業高等学校校長協会 会長、副会長等2名

・日本学校農業クラブ連盟 代表、副代表、常任理事等3名

・主催者代表 公益財団法人セディア財団 理事長

9) 発表

主催者である当財団ホームページ掲載

10) 賞と賞品

I) 個人賞

・セディア財団賞 最優秀賞

作品数:全作品より1作品

賞品:賞状、記念たて、副賞(最先端農業を学ぶ研修旅行※)

・セディア財団賞 金賞

作品数:全作品より3作品

賞品:賞状、記念たて、副賞(最先端農業を学ぶ研修旅行)

※新型コロナウイルス感染状況によって副賞内容が変更になる可能性あり

※第7回は国内研修旅行(東京大学での学会参加、都内観光)を実施

・銀賞

作品数:全作品より5作品

賞品:賞状、副賞(図書カード3万円分)

・銅賞

作品数:全作品より10作品

賞品:賞状、副賞(図書カード1万円分)

Ⅱ)学校賞

・学校奨励賞

内容:優秀な作品を多数応募した学校を表彰

校数:2校

賞品:賞状、記念たて

Ⅲ)参加賞

応募者全員に記念品

10)事業スケジュール

令和6年度

- ・R5 9月 明日の農業コンテスト作品募集要項の決定
募集要項、団体応募用紙、エントリーシート作成
- ・10月 明日の農業コンテスト作品募集要項の決定
- ・11月 全国の農業高校、農業系学科のある高校に募集案内を送付
- ・R6 4月 募集締め切り
- ・5月 一次審査会の実施
- ・6月 最終審査会の実施、入賞者発表
- ・8月 セディア財団賞4名(最優秀賞1名、金賞3名)研修旅行
※新型コロナウイルス感染状況によって副賞内容変更になる可能性あり
- 第7回は国内研修(東京大学での学会参加、都内観光)を実施
- ・9月 入賞作品集の制作

令和6年度は以上のような事業を行い、この財団法人の目的達成を目指します。